

# 千葉県の30年後のイメージ（地域別）

## ◆人口推計（2010年国勢調査ベース）

	2010年		2040年		全国シェア 2010年比 (ポイント)
	人口	全国シェア (%)	人口	全国シェア (%)	
千葉県	6,216	4.9	5,627	5.2	0.39
東京都	13,159	10.3	12,308	11.5	1.20
神奈川県	9,048	7.1	8,343	7.8	0.71
埼玉県	7,195	5.6	6,305	5.9	0.26
茨城県	2,970	2.3	2,423	2.3	▲0.06
1都4県合計	38,588	30.1	34,737	32.4	2.25

(注) 1. 出所: 千葉県: ちばぎん総合研究所の推計。  
 その他の都県及び1都4県合計: 国立社会保障・人口問題研究所の推計。  
 2. 各都県の合計値と1都4県合計は一致しない。

## ◆総合特区の概要

都県名	特区の名称	内容
千葉県	柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区	「都市経営」や「地域エネルギー」、「地域の健康・介護」など都市が直面している課題に対して、大学等との連携により解決策を提案し、創造的かつ持続的、自律的な未来型の都市経営モデルを構築する。
東京都	アジアヘッドクォーター特区	欧米やアジアから企業を誘致し、外国企業と国内企業が刺激し合っ、新技術・新サービスを想像する魅力的な市場を形成し、アジアをはじめとする世界の都市間競争を勝ち抜き、東京をアジアのヘッドクォーターへと進化させる。
神奈川県	京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区	都市・交通基盤が充実し、産業や研究機関も集積している地域特性を生かして、個別化・予防医療時代に対応した、グローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業を創出する。
埼玉県	次世代自動車・スマートエネルギー特区	ハイパーエネルギーステーション(EV車など多種多様なエネルギーに対応した供給拠点)を中心に、地域内のエネルギーマネジメントを一元化し、平時の環境負荷の軽減や、災害時の緊急対応も可能な環境都市を目指す。
茨城県	つくば国際戦略総合特区	研究機関・企業同士の横の連携や産学官の連携によるライフイノベーション、グリーンイノベーションを創出して、日本の抱える少子高齢・医療問題や、エネルギー・環境問題といった課題の解決を図り、日本の成長と発展につなげる。

## ◆千葉県の発展の方向性（地域別）

①東京湾岸地域	a. 東京湾岸のインフラを活用した交流・リゾート都市の形成 b. 医療・福祉・健康産業の集積促進
②A アクアライン・圏央道沿線地域	a. 交通アクセスの利便性向上による企業立地の促進
②B 成田空港周辺・印旛地域	a. 成田空港の人流・物流増加による経済波及効果の最大化 b. 医科大学・看護師養成機関の誘致
③常磐・TX沿線地域	a. 環境未来都市の形成 b. イノベーションの創出拠点
④銚子・九十九里・南房総地域	a. 観光産業を基軸とした交流拠点の形成 b. 医療・健康産業を活用したシルバータウンの形成

## ◆病床過不足数（千床）

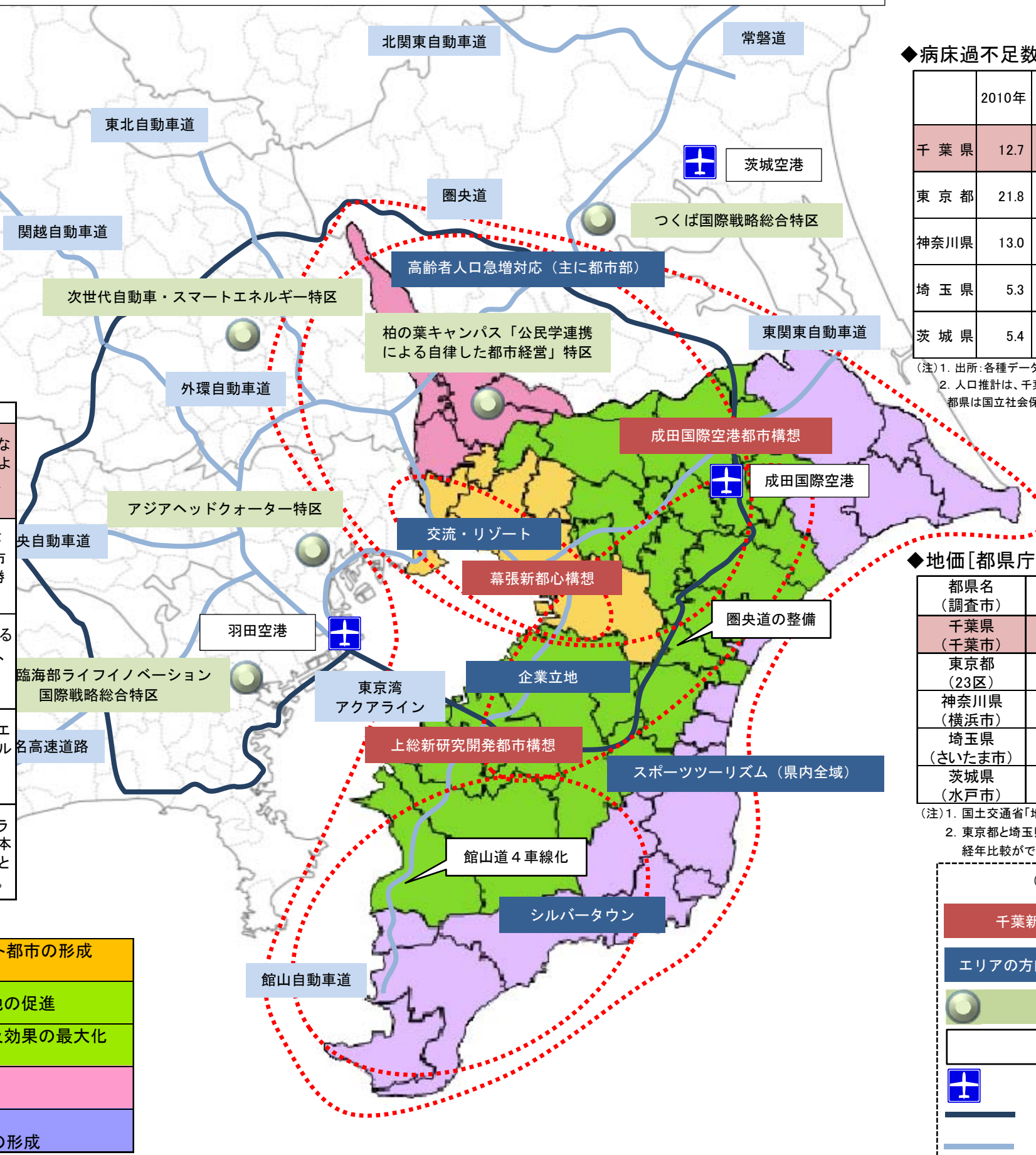
	2010年	2020年	2030年	2040年	10年比
千葉県	12.7	1.7	▲5.7	▲5.3	▲18.0
東京都	21.8	4.7	▲6.7	▲12.8	▲34.5
神奈川県	13.0	▲0.3	▲8.2	▲10.4	▲23.4
埼玉県	5.3	▲7.3	▲14.5	▲13.8	▲19.1
茨城県	5.4	2.3	▲0.1	0.8	▲4.5

(注) 1. 出所: 各種データをもとにちばぎん総合研究所推計。  
 2. 人口推計は、千葉県はちばぎん総合研究所、その他の都県は国立社会保障・人口問題研究所のデータを使用。

## ◆地価[都県庁所在地]（円）

都県名 (調査市)	1981年	2012年	1981年比 増加率(%)
千葉県 (千葉市)	82,800	116,900	41.2
東京都 (23区)	-	484,000	-
神奈川県 (横浜市)	107,000	204,800	91.4
埼玉県 (さいたま市)	-	177,100	-
茨城県 (水戸市)	40,400	51,100	26.5

(注) 1. 国土交通省「地価公示」  
 2. 東京都と埼玉県は集計方法の違い及び合併により経年比較ができない。



(凡 例)

- 千葉新産業三角構想 (拠点)
- エリアの方向性 (エリア=赤点線表示)
- 総合特区
- 公共交通
- 空港
- 首都圏中央連絡自動車道
- 高速自動車国道